京城日報
夕刊
二月十九日（日）

美人インキ 月 ダンプ

五色旗を先頭に 滿洲軍進軍開始

威風堂々嚴寒の沙漠を踏破 熱河討伐の壯途に上る

【新京十九日發電】十八日滿洲國は熱河討伐の重大聲明を中外に發すると共に、滿洲軍總司令張景惠上將、敵前總司令張海鵬將軍の率ゐる直屬部隊、及び建國軍警兩軍は國民の壓倒的聲援を受けて愈よ威風堂々と五色旗を先頭に嚴寒の沙漠を踏破、熱河に向け進軍を開始した、張海鵬前軍部隊は通遼より進擊をなし、龍巖突部隊は魯北より南下し、彰協昌軍部隊は綏中より夫れ〴〵行動をつゞけ、正に熱河を挾擊の狀勢に出でんとしてゐる

開戰準備に着手す

支那軍事委員會發表

【南京十八日發電】中央軍事委員會は本日左の發表を爲した、日本側は本日開魯方面の支那軍に對し、期限付撤退の最後要求を爲し來れるも、我方は之を拒絕し直ちに開戰準備に着手せり、北支の危機最高調に達す

支那密偵機關動く

【漢口十八日發電】日支時局懸念に伴ふ支那側の流言蜚語甚だしく、之に動かされた支那側密偵機關は頻りに日本租界を探り、公私を問はず日本官憲と往來する支那人に日探の嫌疑をかけ逮捕拉致するの暴擧に出るので、支那人一般は不安に襲はれてゐる

李烈鈞が出廬應諾

【南京十八日發電】蔣介石は北支の形勢重大化に鑑み久しく引退中の李烈鈞を起用することに決し、張群、吳鐵城を使者として李の出廬を勸說中の所、李は遂に應諾十八日午後五時十三分大警戒裡に入京した

作相が玉麟と重要打合せ

愈よ進軍を開始か

【新京十八日發電】作相は十八日湯玉麟と會見をなし、重要なる打合をなした、その結果いよ〳〵積極的に進軍が開始される模樣である

制裁行爲は物にならぬ

熱河討伐の際に於る聯盟の行動（外務省消息）

交涉委員會の成立性なし

米消息通信す

【ワシントン十八日發電】

松岡代表は米國經由希望

イ總會議長早くも乘込む

母國に呼びかく 松岡代表の放送

國民の結束と覺悟を熱望する

廿一日朝七時（日本時間）から

外・陸・海三相の意見 斷乎脫退に一致

首相の園公訪問後に於ける廿日の閣議重視さる

信念が通らずば斷然辭任する

外相の悲壯なる決意

幣原前外相が脫退意見發表

外務當局意を强ふす

中島商相が各閣僚歷訪

議員法改正 兩院協議會か

在鄉軍人會の時局善處方針

けふ首腦部協議で決定

外務關係者 昨日意見交換

訪問の首相を園公が激勵

鐵道省の大異動

新年度を期し

熱河を氣に病み 神經衰弱症の聯盟

總會で論議の中心か

十九日の臨時閣議中止

朴泳孝侯 今朝發東上

山田城大總長歸城

紐育爲替小安

紐育株式しつかり

ナ國政府提訴

廿日理事會々議

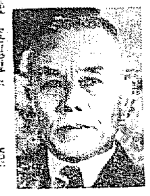
選擧法改正案

樞府修正に同意

廿日の兩院（東京電話）

恩給法改正案提出に決す

十年後五千萬圓節約



滿洲國の交通計畫は既に確立

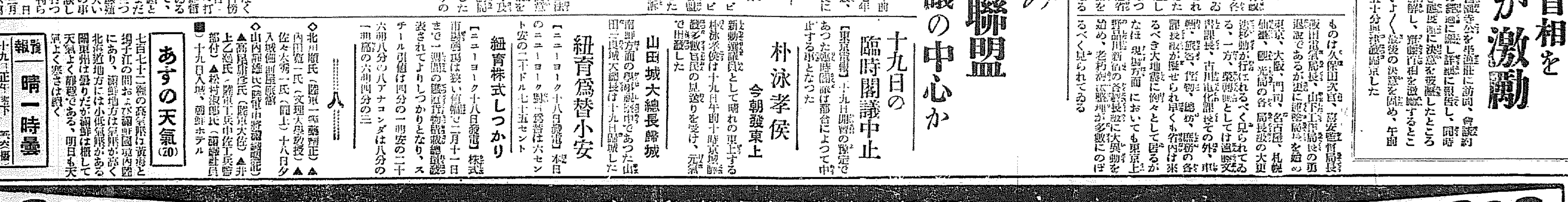
日滿連絡も便利にならう

山内靜夫氏入城談

あすの天氣

豫報 一晴一時曇

經濟的國民榮養素
眼鏡肝油
伊藤千太郎商會



大阪優良品商店
各種作業服 勞働ズボン 製造卸
辻豊商店

洋服附屬品
ワイシャツ、カラー 製造所
茅本シャツ

新形 コンパクト 製造卸
古澤榮七商店

春物 羅紗洋服 製品揃
石尾仁本店

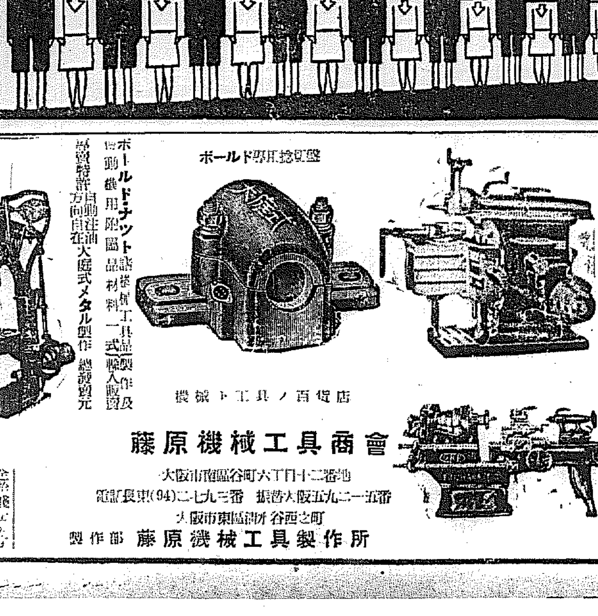
メガネ 卸問屋
大前半治郎商店

家具 建築金物 タンス金物 製造卸
加藤商店

食料玩具 各種 並 景品付玩具 製造卸
藪田本店

ユニオン印靴クリーム
山下芳松商店

新學期仕入品揃



藤原機械工具商會
藤原機械工具製作所

嗚呼爆彈三勇士!!

毎夜塹壕を出て遺骸を慰めた小隊長

死體收容の困難さ

勇士作江の最後よ

【その二】 藤井幽聲

を分ける鐵條網破壞に突撃すべく與ふべきである

斯くの如くして後備班の鐵條網破壞し、爆發と同時に第一線の尖兵、鐵條網を切り開いた突撃路が出來たと、部隊は突撃喇叭を吹奏し日章旗を揭げ

後備班の第一組たる一等兵北村五郎、同鈴木一四三、同杉木一郎の組に點火が後れたが直に突進し第一組の爆破と同時に鐵條網に突入し、倚も爆藥筒を挿入せんとする時第一組の爆破あり、すばやく爆發前に鐵條網に投じ奇蹟的にも傷も負はず後退するを得たの組は點火が後れたが直に作江一等兵の側に馳け寄つて見れば、作江君の負傷け

のも無理からぬことだ、左の腰から吹き飛んで左脚が無いのだから

喇叭が鳴くと静へたから、東島少尉が寄つて

水筒

を口につけて飲ましてやると、作江君はさも嬉し相に「小隊長殿、ありがたう御座いました、此の御恩は一生忘れません」といつた相だ、東島少尉は多忙である戰鬪を指揮しなければならぬ、負傷者ばかり世話してをられない、其後作江は一時間あまり生きてゐた相であるが「内田伍長殿、小隊長殿を呼んでください、小隊長殿が水を持つてをられますから」と頻りにいつた相だ、後藤乙を開いた東島少尉は誠に斷腸の思ひがしたとのこと。いよいよ息を引きとる前には東に向けてくれといふので、内田伍長が顔を東に向けて直してやると、作江は頭を下げて伏し拜み「天皇陛下萬歳!萬歳!」と唱へつゝ其の聲は遂に微になつて息絶へたさうだ、内田伍長も脚をやられて困つたのであるが、我が身の負傷を忘れて部下

左脚

を胴の付根から吹ぎ取られ、右手は腕から先きを飛ばされ、人間の急所に擦傷や、爆藥の挾る傷を負ふて、慘憺たるものであつた、然し意識は明瞭で顔色も良かつた、倚も直し、其邊の窪地の小さな土の陰に内田伍長は作江一等兵を擔ぎ、寢させてやり、しつかりせよと慰めてやつた、作江は色々と破壞作業を心配するから、内田伍長は作江の顔を爆破した鐵條網の方に向けてやると、可憐の作江一等兵はニツコリとして微笑した相だ、時々左の脚が傷むと言つた相だが傷む

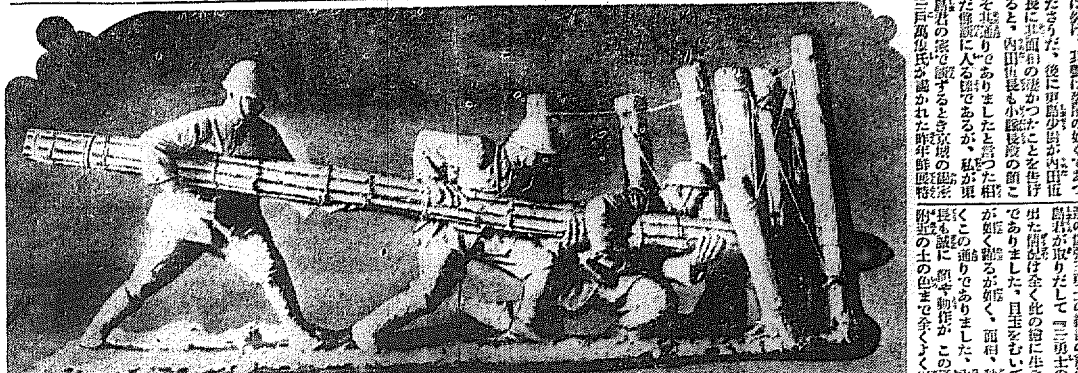
將校

は軍刀を振りかざして先頭に立ち突撃した、實に勇ましいものであつたさうだ、敵の機關銃でバタバタ倒れて隨分沢山の死傷者が出た、其の日露戰爭が誠に鮮やかであつたので「けあーもう夜が明けたわい」と東島少尉は思つたさうだ、之は誠に無理からぬ事である、責任ある指揮官は非常な任務の爆破作業中である、二十二日午前五時三十分突撃路開設、同時歩兵の突撃、これより外には頭に何物も無い一睡もせず氣を揉んで居るのである、兵士は敵彈の下でも疲れが出て爆彈を抱いた儘熟睡の如しであつたさうだが、指揮官の胸中はそんな呑氣なことでは任務の達成は出來ないのである

形相

の物凄さは全く鬼であつた相だ、顔色は蒼黑くなり、眼は三倍位に大きくなつて血走り、眼

内田伍長はじめ二十一名がいよいよ強行破壞に躍り出た時の



は烈げ、其聲は烈風の如くであつたさうだ、後に東島少尉が内田伍長に其面相の凄かつたことを語ると、内田伍長も小隊長殿の其通りでありましたと言つた相だ、東島少尉は此の像を見て三勇士の像の三勇士の像を當時の感激に入る國であるが、私が此の像を拜する時京城の三戶高俊氏が描かれた昨年

ておりますが三勇士の繪畫の寫眞を東島君が取りだして「三勇士の躍り出た偶然けは全く此の繪に生き寫しであります」と「目玉をむいて走る」が如く踊るが如く、面相、動作全くこの通りでありました、内田伍長も誠に顔や動作がこの通り、附近の土の色まで全くよく出來てをります、現地に行かず、其實に出鱈目はずして、よくも斯んなに描けたものであります」と感嘆して居た

×　×

成功

話は前後するが、馬田班の野口君の事を申述べる、野口君は負傷して二十時間あまり生存してゐた、負傷の模樣は聞き漏したが野口君は負傷後戰友に「殘念だ!殘念だ!」と言つたさうだ、遺言は無いかと問へば「遺言があるか殺して呉れ、殘念だ」と言つたさうだ、殺して呉れ?とばかり叫んで、再び死したさうである

此の野口一等兵は家には五十四歳の母親一人、而かも赤貧洗ふが如く、野口君入營前は家計を助けて暮して居たのである。野口君は入營前は某橋梁鐵工場に通勤して働き、入營後は母に手紙を差出す毎に之を慰めて、滿期退營後は働いて家を建て、母上を住まはせるといつてゐたさうである、母上は僅かなる軍事救護と野菜の行商に糊口を凌いで居た、而かも出征當時は病氣で臥床中であつた由、此の野口好平君に遺言なき害はないのである、其の忠魂義烈一意君國の御爲を思ふ熱烈は、誠に日月と光を爭ふと言ふ可きである

私は今之を書きつゝも誠に紙面が曇るのである、此の野口君の唯一人の遺族たる母上を久留米工兵大隊長安部大佐が弔問せられた時母上は簡單に「私は御上の教育を受けてをりましたが、北更好平があり、此の子あり、實に女ながらも偉いものだと安部大佐は感心せられた由、安部大佐から私に語られたのであつた嗚呼、母の精神力の

偉大

なることよ、母の薫習の

此愛なることよ。この母上の一言は實に嚴然として一殿入士、殊に婦人の耳染に聽かないでは居られぬことであらう

爆彈三勇士たる北川、江下、作江の三人も皆精神は優秀で勤務、演習に勉强して居たさうだ、殊に江下は出征前際まで工兵大隊長安部大佐の當番、從卒であつたが實に眞面目で忠實一方の選好であつた、安部隊長も永い軍隊生活で多くの從卒當番を使用したが、此の位眞心でしつかりした人物は無かつたと私に語られた、隊長が家に通れる時はら家に、家から隊に通れる時は隊長が運歩せられると、江下は必ず馬の前に立つて、左樣して如何なる泥濘でも構はず馬の前を走つたさうだ、江下君が出征の際、家族と言ふ子供にもハンカチを與へたことは、何故に有名な話だからこれを略する

×　×

任務

東島少尉指揮下の第二後備小隊け實に彈丸雨飛の敵前にあつて熟練なる軍人精神に燃え立つて、の遂行に努力した、馬田班の負傷者等が倒れてなほ爆藥筒にしがみつき、前進せんとして藻掻き、爆藥筒がぴくぴく動いてゐるのを見た時、之が本當の大和魂といふものか知らんと、東島少尉は胸が詰つて實に何ともいへなかつたとのことだ

爆藥筒を抱いて突進したる勇士等の任務を何で任務するのであるか、内田、海野、其他兵士や置に立動いた、又吉田上等兵や看護兵も負傷者等が水を欲しいと訴へたが小隊長の水筒も空に近くなつてゐたので、吉田看護兵は彈丸雨飛の中を附近の「クリーク」に行つて水を汲んで來、而かも之を消毒して飲ましてゐる、實に責

任感念が旺盛であり親切である、破壞の地點を占領して歩兵大隊は突入し、敵陣の一角を占領したが、爆破後退して陣地の後方に新たに陣地を取つて應戰する、

頑强

なる抵抗を續けて來た、東島小隊長等も右翼兵と後の方面に立つて敵は戰友も小銃を取つて應戰する、團結し、剩へ右翼の後方になりついて

を繰つて奮闘を續け、全く徹宵を厭ふて戰線を理解して活動したさうである、全く疲れ果てヽ芝居や浪花節程度の突撃喇叭ぐあつて、突擊と言ふかんでは、ないのである、三勇士の爆發がけたりで、日露戰爭の頃とは違つて終りではない、其の時突撃の苦勞けそんなに單純なるものではないのである、前進する歩兵の突擊を支援するため戰友は殆んど不眠不休の活動をして居たのである、而かも、何か食べたいと言つて居たさうだ、連日連夜殆んど不眠不休の活動を續けて居たのである

も重傷にあるが如く允分に糧食も食へぬ事情もあるのである、行き渡らぬこともある、有つても爆破を實施して、歩兵の突撃後も、食事は敵を攻撃する爆彈は甚だしく飛び交ふてゐる、我が軍は陣地を掘り擴げるやら、占領した陣地を掘り擴げ、不眠不休の活動を續けたことは前述の通りであるが、東島小隊の一等兵志賀直次君は此

二月二十二日午前五時三十分頃

夜間

靜かに收容して之を各自に負ふ

爆彈

三勇士と、林田、坂井、野口、小崎の四勇士と都合八勇士の戰死を加へて歩兵も工兵も戰闘に多忙なるが、敵彈の激しいので倒れた勇士の死骸を收容することが出來なかつたと言ふ、漸く收容したのは隨分後であつた相だが爆彈三勇士の屍外が初めて出來たのは二十五日頃と殆し、其頃の處は同日の流を持つて而して三勇士の遺骸は地上に放つて居る、官職の辛苦は到底筆紙に盡せるものではない

三勇士等の遺骸を收容する事が出來ないから東島少尉は每夜小隊を率ひ出て、敵陣のピューピュー來る中を兵側に寄つて背を撫で「すまんが、もう少し待つて呉れ、北内收容するから」と言つて慰めたさうだ、愈よ三勇士が死骸を收容した時、遺骸け到底遺骸とも云へない能なので

て『クリーク』の水際に沿ひ、一列側面縱隊で後方に退つた、『クリーク』の水際け低くて頭は敵彈に少し安全だからだ、然るに時々倒れて、ザブーンと水中に轉げ落し、愈まりでは近る、時々倒れて、びしよ濡れに轉げ落して仕立したと、びしよ濡れの死骸を又背負ふては歩く殿速したとのことだ

（寫眞は三勇士の原隊久留米市の工兵第十八隊に建立される爆彈三勇士の大銅像）

時夜戰死をした、血に戰死した

キングの活躍!

三月號は大附錄『傑作落語十枚』入り、と外に大懸賞つきで五十錢、空前の大增刷にも拘はらず、又々品切近いとは偉い勢である。

李春潤一味の滿洲國攪亂事件

大連水上署が探知

十九日正午解禁

【新京十九日發電】昨秋來李春潤一味が學良の救國偽勇軍後援會長洙慶瀾の密令を受け滿洲國に潜入後方攪亂を企圖せるも、逸早く大連水上署の探知する處となり大活動の結果一味を逮捕、新京憲兵隊に於て嚴重取調中であつたが十九日正午記事揭載禁止が解かれた

事件摘發の端緒

大連に上陸の密使を逮捕

【新京十九日發電】東邊道一帶に蟠據を逞うしてゐた唐聚五及び李春潤は昨秋日滿軍の爲

徹底的

討伐に遭ひ部下は四散し身を以て北平方面に逃走し、本年一月在北平救國後援會長洙慶瀾と連絡し東北偽勇軍を再組織し東邊道に蟠據せる匪賊及反日滿分子を糾合し、熱河方面と相呼應して東邊道一帶を根據として滿洲國後方攪亂を企圖し密使として原籍吉林省扶餘縣第八區長春縣街東北偽勇軍總指揮部特殊隊長上尉李洪治（三二）原籍奉天省撫順縣第三區上寨嶺村住東北平

北寧線下ポクロ生李慶林字東北偽勇軍第三軍司令部總指揮兼救國後援會（二八）原籍河北省定新縣縣城第六區生東北義勇軍第三軍第二區少將趙玉林（三五）

その他を擇抜し再び滿洲國反滿抗日工作を計畫し前記密使は総指揮李春潤の

密令と

委任狀を携帯し天津出帆海路大連より上陸せんとする處を早くも大連水上署警察の手で二月三日及六日の二回に亘り遂に一味を逮捕した、右のうち自關者三名は新京に護送し憲兵隊に於て嚴重取調への結果彼等の自白により滿洲國攪亂の事實が判明した

失地回復策

唐、李二名の唐聚五及李春潤は北平救國後援會に先だち救國委員を秘密に任命し自ら大會

李の動靜

李春潤の今日迄の動靜は左の如くである彼等は昨秋の我討伐により脅され六部隊より蜿蜒の大打撃を受け、十一月末國境方面に逃走して彼地より上陸、洙慶瀾より大洋一百元を支給されて漸く北平に落延びた、この時洙は李に對し東北偽勇軍の再組織を命じたので李は本年一月二日偽東北軍を組織し抗日反滿運動を續行して居たもので失地を回復すべく、洙より軍資彈藥の供給を受け二月中に李自ら東邊道に再潜入し同地を根據として一大偽勇軍を組織し抗日反滿、滿洲國後方攪亂を策してゐたもので、當局の嚴重なる警戒により彼等の陰謀が未然に防ぐことを得たものである

入せしめ、同地の匪賊王道その他と呼應して行動を開始すべく企圖してゐたものである

偽勇軍の編成

偽勇軍總指揮	中將	洙慶瀾
總司令	中將	唐聚五
副總司令	上將	李春潤
參謀長	中將	張宗三
參謀	中將	張宗修
同	少將	王維三
軍法處長	中將	張維新
副官	上位	劉金鳳
副官	上校	常兒珍
副總參長	中位	王紹周
副官長	上校	郭駿聲
第一支隊長	少將	劉巳山
第二支隊長	少將	李次伸
第三支隊長	少將	李兒榮

連長 上尉 王致土

同 上尉 李藥

一個支隊は九ヶ連、一ヶ連は三十乃至六十名）

偽勇軍は第一軍團より第六軍團によつて組織さる

第一軍團長 彭根國

第二同 五化一

（遼東天省教育會長）

第三軍團長 唐聚五

（主として北平大學々生三千を以つて北平天津方面に彼等の行動を宣傳し寄附金募集中）

第四同 劉蕃堂

（東邊道一帶に策動す）

第五同 熊飛

（東邊地）

第六同 不明

所長（貴州縣部下元奉天刑務所特務）

石井助教授(東京高師)

街頭連絡中を逮捕

再建運動の重要人物

【東京電話】警視廳特高部中川警部は去る十五日來築地署に出張し目下留置中の三十歳前後の男を極秘裡に取調べた結果、十八日に至り麴町區西早稲田の一六アパート石井友彦（三〇）なることを突止めたので、同警部一行は直に同アパートに至り家宅捜査をなしたところ、意外にも同人は東京高師助教授、東京文理科大學助手なること判明した、石井は去る十五日夜築地小劇場附近を徘徊中特高部員田警部が不審と認め追行したものであるが、同夜は同劇場で國際赤色救援會再建の會合が開かれたので來會の同志と右同盟再建運動につき街頭連絡中を逮捕へいれたもので、過般の共産黨壞滅後黨の分子を糾合し黨再建運動中の一味に重要な役割を演じてゐたこと明かとなつたが東京文理科入學の教職より檢擧を見たのは最初である

種痘せぬ老人

天然痘に

きのふ岡崎町に發生

福山東署管内は天然痘の内地人患者が最も多く十七名の多數に上つてゐるが、又復十八日午後三時頃府内岡崎町六一大石長吉（五七）が天然痘患者なること判明同署では附近の大消毒を行つた、同地一帶は患者の最も多い地域で極力種痘を勵行してゐるにかゝはらず同人は平氣な顔で種痘をしてゐなかつたことが判明した

生徒たち

空を飛ぶ

けふ宣傳飛行

初等學校の教員、兒童に對する航空思想宣傳飛行は蔚山を皮切りに行はれてゐたが、京城での第一回飛行は十九日の日曜、朝九時半から汝矣島飛行場で行はれた、この日府内の小學校、普通學校から幸運の搭乘券を得て參集した先生、生徒合して九十名、先生三名、生徒三名と仲よく連んで順々に京城の上空を一飛びしたが、なかにはわざわざついて來たお母さんなどもあり、もしやと心配して昭和八年の春とも思はれぬ愉快な場面が演じられたさうだ

（寫眞は搭乘前に佐藤航空官から説明を聞く一行）

權泰夏君

歸國の途に

【ロサンゼルス十八日發電】昨夏オリムピックマラソンに九位を得た權泰夏選手は南加大學に在學中であつたが、移民官が旅券の期間延長を許さぬ爲め已むなく十八日歸國の途に着いた

金剛煎餅 本町 龜屋

水上聯盟

スケヂユール

【東京電話】日本水上聯盟では十八日夜今年度最初の定例理事會を東京Y、M、C、Aに開催し各理事出席し左記事項を決定して散會した

▲今年度重要競技スケヂユール

一、日本選手權大會 八月十一、十二、十三、三日間（東京）

全國中等學校東部、西部豫選八月十九、二十日全國中等東西対抗競技八月二十六、二十七日（大阪）

一、日本選手權大會、今年度選手權大會で第十四回極東大會第一次豫選を兼ね今年は明治神宮大會開催の年であるが選手權大會は別に行ふ

劇畫手拭頒布會

今回劇畫の大家故田村畫風畫伯の劇畫手拭頒布會が同氏の志によつて企てられた、来る三月から明年二月迄毎月二種、本宛頒布するもので、但し乙種一種、四、甲種十二種四十、希望の向は東京日本橋區馬喰町三ノ二松山手拭店内松田畫風頒布會宛に申し込まれたい

櫻ヶ丘住宅年賦賣

三棟

京城府明治町內

朝鮮都市經營會社

（電本局一八二五番）

ポリドールレコード 3月新譜

POLYDOR

望郷の唄

浪花節 吹雪 心中 鬼若三次 不破數右衞門 保少年 宮川左近

筑前琵琶 吉野靜 田中旭嶺

ペール・ギュント 月光奏鳴曲 スケルツォ 盟 笑劇序曲 人形 妖精 マオ リ!モオリ

音樂會

コロムビアレコード

大岡越前守 眠れ母の胸に 松竹映畫主題歌

雨長の娘 淺草三重奏 赤い翼

血しほたたる きよき岸にぞ 讃美歌 新民謡 軍歌 行進曲 アメリカの巡邏兵 ヴァイオリン獨奏 モーメント・ミュージカル バンブルビー 平岡養一 長唄 小唄・小明・俚謠

歌舞伎小唄 助六

京城府告示 第十一號 京城府尹 井上清

京日案内 木村 小店 寫眞 恩給 電話

安田銀行 京城支店

財團法人 京城電機學校 生徒募集 電氣部 土木部

京城高等豫備學校 生徒募集

新刊 書籍大市 古本高價買入 金剛堂書店

痔 専門 永樂肛門醫院 京城林町三四

靈力療術 長谷川 靈道場

淋病 梅毒 チエ醫院

六〇六號

淋巴腺結核

きれいる ハルレヤ藥房

中國人四名で大掛りに銀貨偽造
安東署未成品數百枚を押收
一味を難なく逮捕

【安東縣】最近安東市中に五十錢銀貨・十錢銀貨の偽造貨が頻々として使用され市中各商店もこの害を被つてゐる向も多數あり安東署では…

石金昭（四六）
于仁坤（二三）
王（四〇）

三人組の直鍮泥棒
故買犯人も
大邱署逮捕

七七聯隊の鐵道警備演習
軍部と鐵道側提携
二十一日から擧行

人妻と娘が家出
大田署搜査

咸北道議遂鹿戰
聲はすれども姿は見えず
正式立候補は四名　本舞臺は來月から

列車中で天然痘患者發見
新里驛からの乘客
公州で眞性と判明

近く分析し　採掘に着手
有望の金鑛

ゴム職工盟休解決
平壤三工場常態に復す

全州蠶業座談會

城津郡で三氏出馬
表面化す
運動は漸次

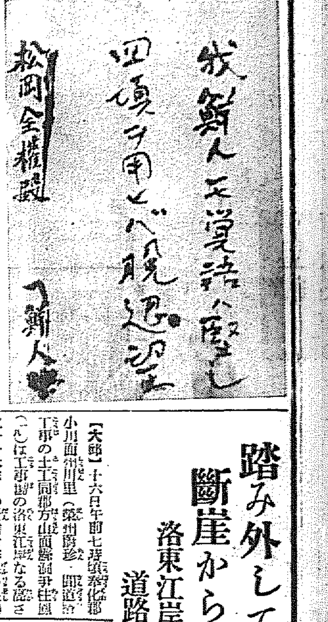
人形を賣つて獻金
平壤の二少女

稀代の倉庫破り
大田署逮捕

掌議や有司の辭令を賣る
墮落した儒林達
城津署廓清を圖る

刺された食刀で相手を突殺す
血腥い酒幕の刄傷事件
兇劇相踵ぐ木浦府

朝鮮同胞が義憤の血書
松岡全權に激勵文
大邱憲兵隊に依賴



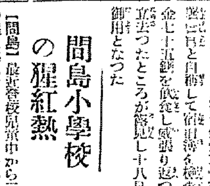
釜山の軍用電線泥棒
二名捕はる

踏み外して斷崖から墜落
洛東江岸で作業中
道路工夫遂に絶命

河面に漂ふ木箱
中から白骨の死體現る
達城郡で護岸工夫が發見
秘められた謎？

鉛を用ひ銀貨偽造
溫陽署逮捕

愛國の志士
熱河に赴く
大邱の林千虎氏　意氣愈よ壯途に上る



偽巡査の無錢飮食
釜山で御用

咸興府會

南浦の市民大會
準備委員會　二十日開く

間島小學校の猩紅熱

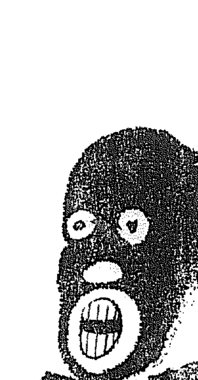
人の動き

仁川府龍岡町　深見釀造場

毎日の御食膳に　不意の御來客に

春　子供服　物荷揃

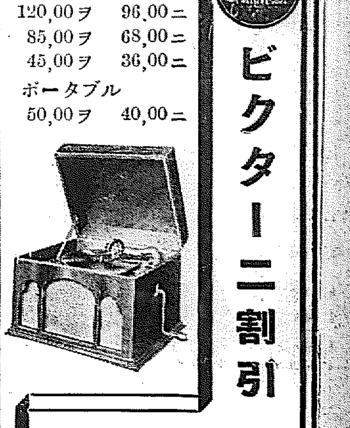
草花進呈　花の會



タバコのみの歯磨スモカ
化粧品藥店にあり　定價十五錢

春！　フンチュウ醬油　梅！　香る　羅林の雄　色香味滿點！
大田　辻釀造場

一服　征服！　頭痛にノーシン



ビクトローラー
120,00ヲ　96,00ニ
85,00ヲ　68,00ニ
45,00ヲ　36,00ニ
ポータブル
50,00ヲ　40,00ニ
レコード
1,00ヲ　,80ニ
1,50ヲ　1,20ニ
2,00ヲ　1,60ニ
三月新譜廿日發賣
京城驛前　明時堂

的田雙六 [81]

長谷川伸
畫 藤井滋

塀の上 (一)

門倉角八郎魚八は、その後間もなく、鬼音屋敷の塀外を歩いてみた。

塀の内からがやがやと人聲がしてゐた。魚八はたちどまつて、塀の上を仰ぎみた。

人聲がはツたりやんだ。

「はてな、今の聲は尋常でなかつた。鈴ひがあつたのかな。人が打たれたやうな聲がしたと聞いたが」

——はてな

又何か聞こえるかと耳をすましたが、何ごともなかつた。

「はてな」

男にやつした姫どのかも知れぬ」

魚八は相當に空想家でもあつた。

門倉の背を聞いただけで、男装した美女が上演した顔で、白い腕をむき出しに、的を射てゐる光景をおもつた。魚八の空想の糸がいた、珠之丞の珠、つやのある白い半裸身であつた。

夢をたのしむ者のやうに、魚八が與み映つてゐると、

「門倉、おぬしはどうしたものだ」

輕く肩をたたかれて魚八は、幻像を消されてしまつた。

「なんだ鬼頭か」

「どのくらゐ待つたか知れぬ。既は先行したかと思ひ、諸門とやらいふ處まで行つてみたが、おぬしらしい者の通行をみなかつたと人がいふので、もしやと存じて引返してきたところ、この方面へ行つた者と人の話を聞き先ほどからこの邊を四五遍も往來した」

「それはご苦勞だつた」

「おぬし、何かよい目當がついたのか」

「聚しのごとく、門倉魚八、生きてゐる甲斐があつた」

「見かけた甲斐があつたのか、それは再出たいことだが、その出は？」

「古今に稀だ」

「さてさて、羨ましい」

「男と生れてこの上なしの果報だ」

「君捕への話にもなつたのか」

「え？」

「この邊にも大名の屋敷があるとは心つかなかつた」

「鬼頭、おぬし、何だとおもつてゐる？」

「世に出られる若い話だらうが」

「知行とりになるかといふのか、違ふよ」

「では、孫宗に抱へられるとでもいふ話か」

「それも違ふ」

「では、何だ」

「女だ」

「女？」

「古今稀れな美女だ、あんな好もしい女をみたことがない、恐らく門倉魚八は、あの女を見かける爲に眞々の身になつてゐたのに違ひない」

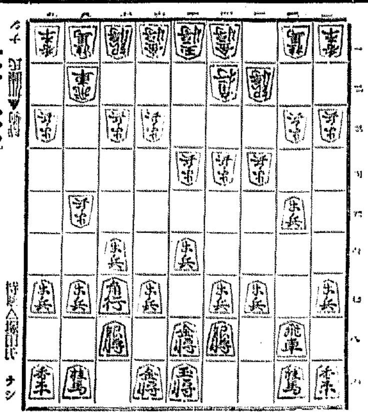
「門倉、おぬし、それは正氣か」

「その女の屋敷はこれだ、只今申す事を争つてゐる、それ、あの聲を聞いて見ろ」

「物に憑かれたやうなことばかりいふが、門倉おぬしは」

「わしはここに一生の大事を發見したから、この地を離れぬ覺悟だ」

將棋新手合 (二)



熊の斷い姿とみえて魚八は、塀の外に突ツたつて、霧木越しに照りつける日をあびて、頭も胴も木綿の斑をいつぱいつけて動かなかつた。

門倉の背、的を射る矢の音が、團のりものどこかから聞えた。

「射術の稽古か——齒痒らしい」とするると、一人はお齊藤、一人は……

鬼頭二郎は魚八の友人で道づれだつた。…眞々を探して一日も早く……

JODK 二十日 (月)

家庭講座

新様式のラヂオ體操

宮田

讀者欄

演藝案内

京城寶塚劇場

やよひ會

大正館

喜樂館

菊五郎格子

舞踏裁判

ジャズ結合

椿姫

三萬兩五十三次

小市民

朝鮮劇場

モルグ街の殺人

叫喚の原野

鐵拳西部王

踊るカレンナ

特別大興行

坂本龍馬

浪花館

中央館

牛獄の花嫁大會

晩白小僧手柄話

カポネ再現

朝日座

歌劇 レヴューの夕

放送局の一夜

女軍出征

京龍館

妙法院勘八

團成社

靖國神社に

名門藝備

忍びよる心

朝鮮郵船出帆

利通號 / 威海衛・芝罘・大連行

長山丸 / 大連・天津行

北同丸

朝鮮郵船中發著事務所 野口商會

大阪行 / 東京行 / 名古屋行 / 上海行 / 仁川行 / 長崎行

日本郵船出帆

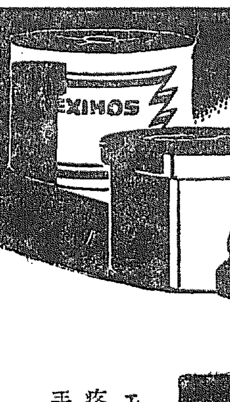
朝鮮郵船株式會社

釜山出帆

仁川出帆

朝鮮汽船出帆廣告

● 雪嶺 仰ぐべし！ ノーシン のむべし！ 共に 心氣爽快 ●



濕布に優る エキホス

感冒・肺炎・肋膜炎・咽喉カタル・氣管支炎・扁桃腺炎
ロイマチス・神經痛・乳房炎・月經痛・齒痛・火傷・凍傷

エキホスを塗布すれば、局所の血液循環を良好にし、腫脹炎症を去り、疼痛を輕減し、保溫作用によりて爽快の感を與ふ。濕布の如き不便と、手數を要せず。用法簡便にして一回の塗布よく長時間效力を持續す。

定價 一〇〇瓦入(・四五) 二五〇瓦入(・九〇) 五〇〇瓦入(一・五〇) 一キロ入(四・五〇)

——全國知名藥店にあり——

發賣元 株式會社 武田長兵衞商店 株式會社 塩野義商店
製造元 二合名會社 大阪市東區道修町

無上之光榮

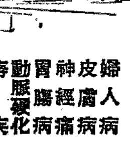
東宮殿下 特許 登錄商標

オホ！ 寒さの 御用意 保溫が第一

(新聞名記入見本請求歡迎)

六一〇ハップ

家庭温泉・熱濕布良藥



婦人病 皮膚病 神經痛 胃腸病 動脈硬化 痔疾

百貨店、藥店、特約店にあり

名古屋市 武藤鉦製藥部

乳なき母へのすゝめ

世には乳なきが爲に——愛兒の發育も充分ならず——心痛むお母様が如何に數多い事でせう。斯樣なお氣毒なお母樣方に

赤坊を立派に育て上げる事の出來るやう
不安なく晴やかな氣持になつて頂けるやう

私共は最も良いお乳ラクトーゲンをおすゝめするのです。
ラクトーゲンは過去十數年の間に數十萬の人々から愛用されました、その中には母乳一滴もなく而も最優良兒として表彰された兒もあれば又母乳とラクトーゲンの併用によつて素晴らしい成績を擧げた兒もあります。
此等の事實!! 此等の實績!! この力强い證據を持つて皆樣方にラクトーゲンをお奬め致します、是非お用ひ下さいませ。

無論 學理上から申しましてもラクトーゲンは最も母乳に近い成分を持ち最も進歩した方法で製造したもので、ビタミンの保存や均勢のとれた各成分の配合率等、人體の榮養として最良のもので御座ゐます。

詳しき育兒法に就ては弊社育兒相談部へ御相談あれ御指導申上ます

優良第一 母乳代用

ラクトーゲン

乳卵食料株式會社 大阪市東區伏見町二丁目 東京市日本橋區本町二丁目

A—8—2